

おはなしトレイン

ふゆのワクワク号

がくねん 学年ごとに おすすめの本 を しょうかい します。ゆきうさぎのマーク  は読みやすいおはなし。

ゆきだるまのマーク  はすこし長めのおはなしです。ぜひ、チャレンジしてください。



まつせ なな お さいわ
松瀬 七織 / 再話
イ ヨンギョン / 絵
ふくいんかんしよてん
福音館書店



『王さまになった羊飼いのチベットの昔話』

羊飼いから王さまになってしまうなんて、いったいこの男の子にながおきたのでしょうか。けっしてとくべつな男の子だったわけではありません。けれども、どんなにじぶんがおなかをすかせていても、うさぎにたべものをわけてあげる、とてもやさしいところのもちぬしでした。そのやさしさから、かみさまは男の子にふしぎな力をさすけます。その力とは…？



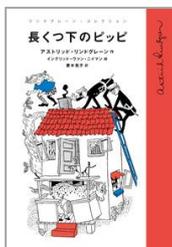
たかの ゆりこ へんやく
高野 由里子 / 編訳
ふるさわ たつお / 絵
ふうとうしや
風濤社



『コヨーテ太陽をぬすむ』

アメリカインディアンのおはなし

オオカミによく似たイヌ科の動物、コヨーテ。アメリカインディアンにつたわるおはなしの中では、神さまや神さまのつかいとして登場します。ところがとってもずるがしこくて、おひとよし。ゆうきがあって、こうきしんおうせい。何でもやってみようとして大しっぱいすることもあります。元気いっぱいのおもしろいコヨーテが主人公のおはなしです。



アストリッド・リンドグレン / 作
イングリッド・ヴァン・ニイマン / 絵
あしき あきこ やく いわなみしよてん
菱木 晃子 / 訳 岩波書店



『長くつ下のピッピ』

もし、あなたの家のとなりに世界一強い女の子が越してきたら…？ ピッピ・ナガクツシタは、ひとりで何でもできちゃう女の子。クッキーづくりだって木登りだって、おまかせあれ！ 彼女の行くところ、奇想天外でワクワクの連続です。作者お気に入りのスウェーデン版のさし絵と新しい訳で、生まれかわったリンドグレンコレクション第一弾です。

1・2年生



『アレハンドロの大旅行』



イノシシのアレハンドロは、なにも話さない、おとなしい子どもでした。しんぱいしたおとうさんとおかあさんは、「ひとりで、あの丘のちょうじょうまでいかせれば、話せるようになる」ときいて、丘へいかせることにします。さあ、アレハンドロの大旅行がはじまります。どんなことがおこるのでしょうか。

きたむら えり／さく・え
福音館書店



『おさかないちば』



まだ空がくらいあさ早くに、男の子はいちばへいきました。にぎやかないちばの中には、さかながいっぱい。はねるエビ、もそもそごく貝、ともだちのかおににているさかな。大きなかおに、つやつやしたうろこのプリは、えほんからとびでてきそうです。いっしょにいちばの中をあるいているようなきぶんになりますよ。

加藤 休ミ／作
講談社

3・4年生

『いのしし』



からだにしまもようのあるいのししのあかちゃんは「ウリ坊」とよばれます。ウリ坊は、いつもわらったような顔をして元気いっぱい。けれど1、2年もすれば、親いのししのように、つよ強くあらあらしくなります。長くて大きい鼻にも、どろの中でねることに、それぞれに生きるためのひみつがかくされています。山でくらすいのししのすがたが、力強くえがかれた写真絵本です。

まえかわ たかゆき しんぶん ぶん
前川 貴行／写真・文
アリス館

5・6年生

『シロクマが家にやってきた!』

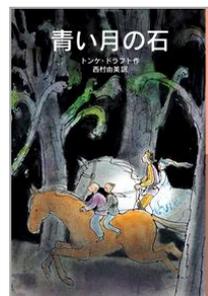


サッカーが大好きなアーサーにはしよ書のある第1がいます。第2のことは理解していますが、第3ばかり優先する両親にたえられず、家出を決意します。ところが、玄関を出たらそこにはシロクマが! シロクマのスーツケースには、「ミスターP」という名前とアーサーの家の住所が書かれたタグがついています。一体どこから、何のためにやってきたのでしょうか。

マリア・ファラー／作
ダニエル・リエリー／絵
すぎもと 詠美／訳
あかね書房



『青い月の石』



「どこから来たの? マホッフ、マホッフ、マホッヘルチェ」。子どもたちが校庭で遊んでいると、このオランダの古いあそび歌につられるように、地下の王国から不気味な人物が現れます。ヨーストと友達のヤンは、勇気を出してその足あとを追っていくのですが…。青い月が出たその時から、地上と地下の世界を行き来する冒険が始まります。

トンケ・ドラフト／作
にしむら ゆみ やく
西村 由美／訳
いわなみしよてん
岩波書店

